

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月25日

【評価実施概要】

事業所番号	270101678		
法人名	有限会社すかい		
事業所名	すかいグループホーム		
所在地 (電話番号)	〒030-0966 青森県青森市花園2丁目44番地7号 (電話) 017-765-2666		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 21年 2月 24日	評価確定日	平成 21年 3月 25日

【情報提供票より】(平成21年2月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 7月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	16人, 非常勤 0人, 常勤換算 16人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋構造造り		
	3階建ての 2階 ~ 3階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	23,000 ~ 30,000 円	その他の経費(月額)	26,600 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 250 円
	夕食	500 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(2月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	7 名	女性	12 名
要介護1	2 名	要介護2	4 名		
要介護3	8 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82 歳	最低	68 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	北川ひ尿器科クリニック
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

人工透析患者の受診可能な医療機関が隣接しているという立地条件から、人工透析の入居者を多く受け入れられる体制にあり、実際半数程度の入居者が人工透析を利用している。事業主はこれにとどまらず、身元引受人のない方の受入等、困難ケースの受入にも尽力している。商店街に隣接して所在するため、車どおりが多い点についての配慮は必要だが、利便性については申し分ない。ホーム内にはAEDも設置し、緊急時の備えにも尽力している。また、事業主は薬剤師、ケアマネージャーの資格を有しており、医療、介護に精通し、個人を大切にすケア等、独自のサービスが展開されている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>理念は各職員が案を持ち寄り作成し、必要に応じ、各ユニット毎に、そのユニットに合った理念となるよう見直しを行っている。近所づきあいについては、行事のときのみならず、クリーン作戦を実施する等自ら外にでて交流を求める等努めている。契約時には事前に説明資料を渡し、質問事項を書いてきてもらう等、疑問点の解消に努めている。身体拘束については独自のマニュアルを作成、周知に努めている。鍵をかけないことについては、居住スペースのある各階は施錠していないが、1階の出入り口については、車どおりが激しく、危険防止のため止むを得ず施錠(電子ロック)している。避難訓練は夜間想定も実施しており、付近住民との協働については参加が得られてはいるが、呼びかける努力は行っている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は職員全員で行い、外部評価の結果については終了後すぐ皆で話し合い、改善できる点について改善を行っている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>会議では様々な報告や、参加者からの意見が出されており充実しているが、更なる充実のため会議開催の前に具体的な議事内容を参加者に示しておく等の改善が望まれる。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>入居者の暮らしぶりについて、全体的な便りを作成するに加え、その中に各々の入居者の様子を個人別に書込み、該当家族にお知らせしている。家族等の意見は口頭で受けたものを専用のノートに書き留め、随時検討を行っている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し、地域の運動会や老人会の昼食会にも参加し交流を図っている。その他小学校の廃品回収に協力したり、自ら外に出てクリーン作戦を実施、交流したりするとともに社会貢献にも努めている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	各職員が持ち寄った案を基に、各ユニット毎に理念を作り上げている。状況が変化した場合等、必要に応じ見直しも行って、実態に即した理念となるよう努めている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を共有スペースに掲示するとともに、朝のカンファレンスで話し合い共有に努めている。実践については、例えば「見えない思いを把握する」ということに関してはセンター方式を用いたり、各職員からの気づきを集めてカンファレンスを行っている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内会に加盟するとともに、付近の学校の運動会に参加したり、地域老人会の昼食会にも参加している。他、近所の小学校の廃品回収に協力したり、クリーン作戦を実施したり、社会貢献にも努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価票作成にあたっては全職員で行い、外部評価終了後、すぐ結果について話し合い、改善に努めている。(日めくりカレンダーの表示、ホーム独自のマニュアルづくり等)</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議ではホームの活動報告や意見を聞く場となっており、双方向的な意見交換が少ない傾向が見られる。</p>		<p>参加者からの的確な、運営に関する意見等を引き出すため、参加者には事前に議事内容をお知らせしておく、等の工夫をすることが望まれます。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>定期で発行するホーム便りや、家族会への参加案内を持参するとともに、運営基準等に疑義が発生した場合は市担当者に相談している。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>地域福祉権利擁護事業及び成年後見制度いずれの利用者も入居者におり、かつ研修も実施しており、職員の理解は十分に図られている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>マニュアルを作成し、研修で周知するとともに、ホーム内共有スペースにカメラを設置して虐待の防止につとめている。カメラの設置に関しては職員や家族からも十分な理解が得られている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約締結時には、家族に質問事項を書いてきてもらう等、十分な理解に努めている。緊急で入居された入居者及び家族については、一緒に過ごしてもらい理解されるよう努めている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>個人の状況をお知らせするコーナーを設けたホーム便りを発行・送付し、家族の不安の解消に努めている。職員の異動があった場合については、家族が面会に来た際に紹介することとしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱は設けており、これに投函された例はないが、口頭で申し出のあった意見・苦情等については、専用のノートに書き留め、随時検討を行い家族に回答している。事業所外の苦情受付について重要事項説明書に明示している。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職に関しては、入居者の動揺を避けるため、特に告知することは行わず、離職する職員の裁量に任せている。新たに配置された職員に関しては紹介し、スムーズに受け入れられるようなケアを提供している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は職員の研修受講に積極的で、認知症介護実践研修には常に申込を行っている。内部的には、レポートの作成を課したり、テストを実施したり、職員育成に努めている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内同業者で作った認知症を考える会に加盟し、年2、3回の研修会や情報交換会、共同で講演会の実施も行っている。上記他、地域のグループホームとの交流も行っている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	短期利用が可能な体制となっており、体験利用も可能である。また、利用者、家族が安心して生活できるように相談し、情報の提供を図ったり、説明を行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理の店を出していた入居者に料理を教えてもらったり、絵や字を書くのが得意な方にはパンフレット作りに協力してもらったり、役所勤めだった方には漢字を教えてもらったり、各利用者の得意な分野を把握し引き出すことに努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時に生活歴を聞き取ったり、各職員からの気づきを集めるとともに、アセスメントにセンター方式を用い、思いや意向の把握に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>計画作成に関するカンファレンス実施時には、家族の方にも参加してもらうとともに、参加できる場合は入居者本人にも参加してもらっている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>サービスの提供は介護計画に則って行っており、状況が変化した場合は必然的に計画の見直しが必要となるため、状況の変化に応じ、随時見直しを行っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>短期入所利用者の受入は可能であり、車椅子利用者のため家族送迎による外泊外出が困難な場合には、車椅子対応車の貸し出しも行っている。入居者が入院しており、転院が必要な場合には、送迎の支援も行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の都合でかかりつけ医を変更することはなく、入居者本人の希望するかかりつけ医への受診についても、無償で支援を行っている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの指針を作成しており、入居契約時に説明し、方針を決定している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報に関しては、本人に開示できるようにするとともに、他人の目にはふれないよう管理・保護している。トイレの声がけは他入居者に知られないようにするなど羞恥心に十分配慮して行っている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	全体的に入居者本人のペースに任せた暮らしぶりとなるよう支援している。ホームの都合に合わせることなく、食事・入浴等の時間は自由である。ただ、透析のある方については、健康上の事由から適宜勧めることとしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立の作成にあたっては、入居者からの希望を聞いたり、夏場であれば一緒に買い物にも出かけたりしている。食事の準備・後始末についてはできる方に関しては、お手伝いをお願いしている。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は設定しているが、個々の希望に合わせて支援している。拒否がある方については、入浴剤を用いたり、透析必要者や通院予定者については病院へ行かなければならないからと諭したりして誘導し、清潔保持に努めている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの楽しみごとを尊重している。例えば、生け花、俳句、将棋等の趣味や人前での挨拶や文字を書くこと等の仕事に関する特技を把握し、随所でその能力が発揮できるよう支援している。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出は、機会を見つけて適宜行っており、入居者から希望があった場合にも対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は全く実施しておらず、また、独自でマニュアルも作成・周知し、過って拘束してしまわないようにも努めている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	一階の玄関の外は車どおりが多いため、危険防止のため家族の了承を得て、一階の玄関のみ施錠している。各階の非常階段やエレベーターの入口は施錠していない。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練のうち夜間想定もあり、歩行できない方については布団に乗せて引っ張る等の工夫も見られ、真摯に訓練が行われている。また、運営推進会議の際に呼びかけ、災害時の協力体制の充実に努めている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量、食事は常にチェックしている。また、便秘予防のため、繊維質が多い食事となるよう配慮している。透析利用者の方や糖尿病の方については、医師の指示に従った栄養摂取となるよう努めている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルは種々の感染症が網羅されており、勉強会も実施し、予防や対策に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
34	78	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	3階には共有スペースが3ヶ所あり、各々の入居者の都合、気分に合わせて居場所が確保できるよう努めている。2階はたたみの場所がないため、ござを敷くなど工夫している。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者には、居室内に入るだけ持ち込めるよう説明しており、実際居室内は入居者の馴染みのものと思われるもので、いっぱいであった。		

 は、重点項目。